



チャレンジ! チャレンジ活動

学校・地域環境保全コース

小豆島町立小豆島中学校

小豆島中学校生徒会

生徒会役員6名が中心となり、全校生301名に声をかけ、学校が所有するオリーブ園の除草、剪定、オリーブの実の収穫を行っています。

目標

オリーブ学校園の除草や収穫を通して地域のよさを理解し、食文化の継承を図るとともに、自然の恵みや勤労の大切さを学ぼう！

指標

オリーブ学校園の作業に年間のべ1,800人以上が参加する。

活動の様子

◎オリーブ学校園でのオリーブの栽培

- ・定期的にオリーブ学校園へ行って全校生で除草を行っている。また、保護者やPTAにもご協力いただき、除草活動を3度行った。
- ・1年生の技術・家庭科の時間に町のオリーブ課の方に来ていただき、オリーブの剪定や収穫の方法について教えてもらった。

◎収穫後のオリーブについて

- ・実が熟したら収穫し、出荷して企業に買い取っていただいている。2度に分けて(新漬け用、オリーブ油用)収穫を行い、収益金は生徒会費や部費など、生徒の学校生活に必要な経費に還元している。
- ・収穫したオリーブは、様々な料理に使うとともに、新漬けやパンに付けるオリーブ油として、給食に出しており、生徒の食育にも活用している。



← 収穫している様子
傷をつけないように注意しながら、一粒一粒丁寧に手でちぎっています。

<本年度、工夫できた点・挑戦できた点>

オリーブ収穫を2回行うことで、残さず丁寧にオリーブの実をとることができた。

目標の達成度

今年度はオリーブの実が少なく、オリーブ学校園で作業した回数は4回と昨年度より1回少なくなつた。そのため、部活動単位での参加や保護者の参加を含めても、のべ1,500人程度にとどまった。しかし、今年度も給食で収穫したオリーブが使用され、生徒自身も地産地消を実感することができた。